

取付方法

位置決めシートと床給水管が干渉する場合

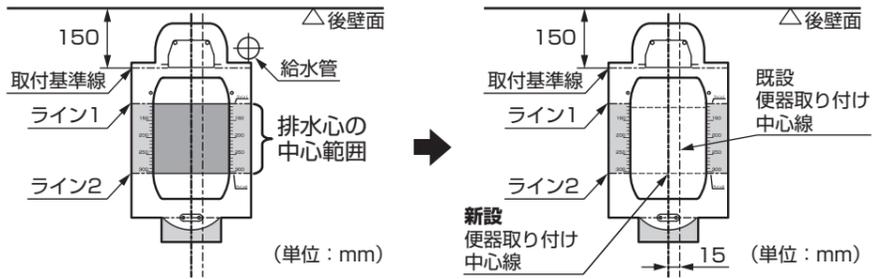
排水アジャスターを傾けて取り付けることで、給水管と干渉せずに施工することができます。

3 位置決めシートの位置決め

- 給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがあります。
- 便器中心線を、給水取り出し位置とは反対側へ15mmずらした位置に中心線をけがく。
- けがいた中心線に、後壁面から150mmの位置に位置決めシートの取付基準線をあわせて置く。
- 位置決めシートを置いた後、排水心の位置を確認し、位置決めシートの位置を調整する。

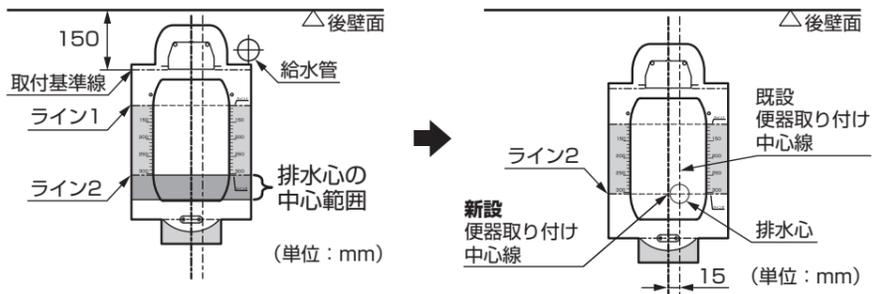
排水心の中心が、ライン1とライン2の間にある場合

位置決めシートの位置の調整は不要です。



排水心の中心が、ライン1とライン2の間でない場合

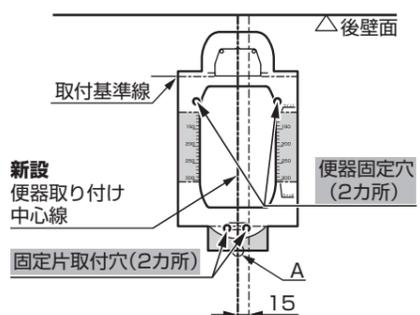
位置決めシートのライン2を排水心の中心にあわせて、位置決めシートを置く。



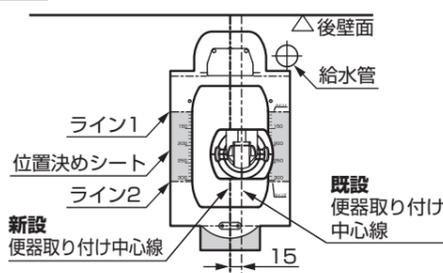
※取付基準線の位置決めは左右の2カ所で行ってください。
※後壁面から取付基準線の寸法が150mm未満の場合、便器やタンクが後壁面に干渉し、取り付けられないおそれがあります。
※寸法出しの際は後壁面から行ってください。(幅木からではありません)

4 位置決めシートで取付穴位置をけがく

- 固定片取付穴位置、便器固定穴位置をけがく。
- 鉛筆など(あとで消せるもの)で右図A(便器取り付け中心線)に印をつける。
- けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。
※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



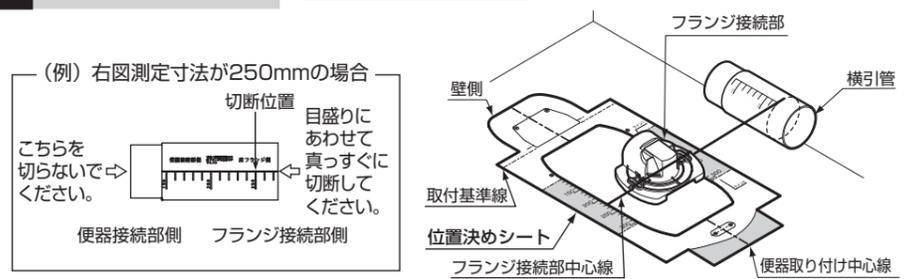
5 フランジ接続部の仮置き



注意
フランジ接続部の仮置きは、壁面に対し平行となるように置いてください。傾けて置くと、横引管の切断が正確にできなくなります。

ケース①	ケース②	ケース③
フランジ接続部中心線がライン1とライン2の間にある	フランジ接続部中心線とライン2が一致	フランジ接続部中心線とライン1が一致
目盛りにあわせて横引管切断	目盛りにあわせて横引管切断	横引管不要
6へ	6へ	7へ

6 横引管の切断 リモデルの場合



- 既設フランジ中心線とフランジ接続部中心線をあわせる。
- 位置決めシートの目盛りと同じ目盛り位置で横引管を真っすぐに切断する。
- 横引管端部のバリを完全に取り除く。

7 排水アジャスターの組み立て

注意

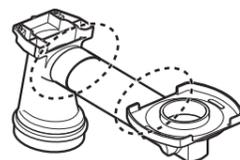
横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因になります。

必ず実行
床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因になります。

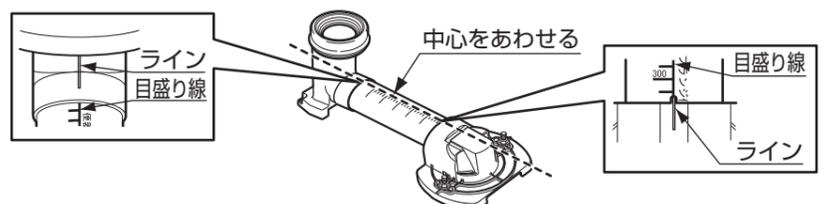
- 塩ビ用接着剤を十分塗布し、各中心をあわせるように組み立てる。



- 突き当たるまで差し込む。

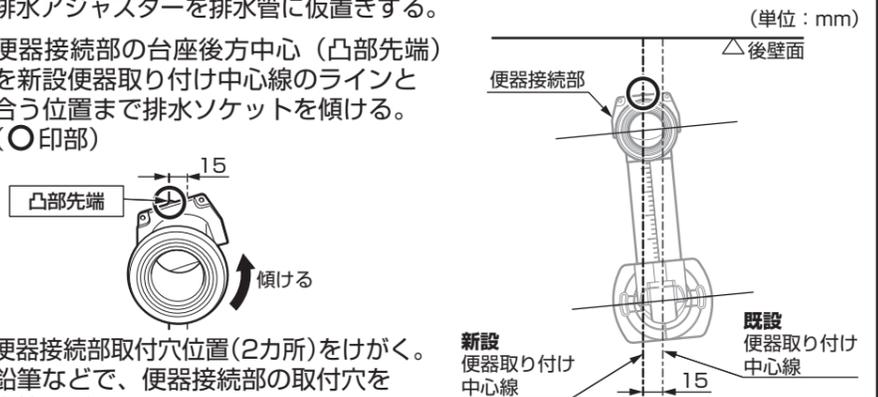


- 各ラインを目盛り線とあわせてください。



8 便器接続部取付穴位置をけがく

- 排水アジャスターを排水管に仮置きする。
- 便器接続部の台座後方中心(凸部先端)を新設便器取り付け中心線のラインと合う位置まで排水ソケットを傾ける。(○印部)
- 便器接続部取付穴位置(2カ所)をけがく。
※鉛筆などで、便器接続部の取付穴を直接けがく。



- けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。
※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

以降の作業は、4~5ページ「取付方法 8~12」に従って作業してください。